

番号	タイトル	内容	時間	形式
7-294	こんにちは 金泰九さん -ハンセン病問題から学んだこと-	全国中学生人権作文コンテストで法務大臣賞を受賞した後藤さんの「NO!と言える強い心をもつ」をもとに映像化した作品です。元ハンセン病患者・金泰九（キム・テグ）さんとの交流を中心に後藤さんの所属する盈進中学校ヒューマンライツ部が20年以上続けてきた長嶋愛生園での体験学習を紹介。金泰九さんの思いも語られています。	25分	ドキュメンタリー
7-296	シェアしてみたらわかったこと	東京のどこかにあるシェアハウスが舞台。年齢や社会的立場も異なる人たちが同じ屋根の下で暮らすことで気づいていくことを描いています。4つのテーマ：「外国人に関する人権」「性自認や性的指向に関する人権」「外から見えにくい障害のある人の人権」「災害時の人権」を柱に、ドラマと解説を織り交ぜた構成。基本的な気づきを持つことができます。	46分	ドラマ
7-297	涙に浮かぶ記憶 戦争を次世代に伝えて	全国中学生人権作文コンテストで法務大臣賞を受賞した「戦争を次世代へ伝えて」をもとに脚色し映像化した作品です。「なぜ日本は戦争を止められなかったのか」その疑問を中学生3年の女の子が、戦争体験者の曾祖父から聞き出しながら、戦争への拡大の足跡を資料映像で辿っていきます。	28分	ドキュメンタリー
7-298	11歳の君へ ～いろんなカタチの好き～ 【団体研修には利用できません】	ろうLGBTのそれぞれの生き立ちや仕事、家族のことについてのインタビューとLGBT知識編の二部構成 【第一部】それぞれの“生き方”と“好き” 6人の方がご自身のことを語る 【第二部】もっと知ろう ろうもLGBTも特別ではない、普通のことだと感じられる作品です。	76分	ドキュメンタリー
7-301	new! 話せてよかった 家庭からふりかえる人権	日常の中の思い込みによって生じる問題を描き、相互理解のためのコミュニケーションによって、その問題と向き合うことが提案されています。自分の中にある思い込みに気づき、自分も相手も尊重する人間関係を築き、職場や家庭内で「人権」について話し合うきっかけになる内容です。	27分	ドラマ
7-302	new! カンパニユラの夢	社会問題となりつつある8050問題には、地域との接点を失い、その家庭の生活が困窮するなどの課題があります。この作品は、その課題を表しながら、「ひきこもりが誰にでも起こりうること」と、「8050問題に直面する家族の苦悩を知ること」「地域社会とのかかわり方」などを合わせて考えることができる内容になっています。	36分	ドラマ
7-304	new! 笑う101歳×2 笹本恒子 むのたけじ	日本初の女性報道写真家、笹本恒子と、反戦・平和を訴え続けた日本のジャーナリスト むのたけじ、二人の証言を通し、激しく揺れ動いた時代の人間ドラマを描くと同時に、101歳でなお現役として生きる輝きと、その秘訣を探り追い続けたドキュメンタリーです。「女性の人権」「メディアリテラシー」「老いをどう生き抜くか」などを考え、学ぶことができる作品です。	96分	ドキュメンタリー 映画
7-40-2	new! 地球が動いた日	1995年1月17日未明、大震災が神戸を襲った。6年生の剛の家も崩壊、クラスメートの和幸君はたった1人の家族である父親を失い、仲良かった美帆ちゃんは、家族と一緒にその短い生涯を閉じるのだった。避難所で和幸君の心痛に触れる剛。同時に人々の心づかいや励ましの中で、人の繋がりの大切さを知っていく……。	75分	アニメ映画
7-273	ふるさと - JAPAN -	昭和31年、戦後から10年が経ち日本が貧しさから脱却し、再び国際社会への仲間入りを果たそうとしていた頃、東京の下町で、日本人の心のふるさととも言える“童謡”を歌い継いでいこうとした先生と子供達の間で結ばれる“魂の絆”の物語。第12回リヨン・アジア映画祭グランプリアニメーション部門、子ども映画部門W受賞作品。	98分	アニメ映画
7-303	ガラスのうさぎ	児童文学作家の高木敏子さんの原作「ガラスのうさぎ」（金の星社出版）に基づいて作られたアニメーション映画です。 太平洋戦争末期、疎開、空襲、肉親の死など過酷な体験をしながらも生き抜く小学生の敏子の物語を通して、反戦平和、命の尊さ、人とのつながりなどを考えることができる作品です。	83分	アニメ映画

**人権 DVD  
2022**

**ドラマ・映画・アニメーションなど**

**貸出  
無料**



四日市市人権センターでは、人権啓発のためのビデオ・DVDの貸し出しを行っています。  
ご家族とご一緒に、また地域でお集りの際などにご活用いただき、身近な人権課題を知っていただきたいと思ひます。

- ご利用にあたって**
- 貸出本数** 1回につき5本まで
  - 貸出期間** 貸出及び返却日を含め15日以内
  - 申込方法** 直接 人権センターへお越しいただくか、電話又はFAXでご予約ください。
  - 受取・返却** 直接 人権センターへお越しいただくか、お近くの地区市民センターでお受取り、ご返送ください。  
(ご自宅等への郵送は行っていません)

**四日市市  
人権センター**

開館時間 月～金 8時30分～17時15分  
休館日 祝・休日、年末年始  
所在地 〒510-0085 四日市市諏訪町2番2号  
(総合会館7階)  
電話番号 354-8609 / FAX 354-8611  
E-mail jinkencenter@city.yokkaichi.mie.jp

**おすすめ DVD  
作品紹介**

○人権センター所蔵のDVDの一部です  
○人気の高い作品の場合は、予約状況によって貸出期間の調整をお願いすることがあります。  
○ご不明な点等はお気軽に人権センターにお問い合わせください。



番号	タイトル	内容	時間	形式
2-032	サラーマット ～あなたの言葉で～	訪問介護事業所で働く珠美は、新しく職場に来たフィリピン人に対し、様々な「違い」を「壁」と捉え、面倒な存在と感じてしまいます。対立や交流を通して、新たな視点に気づかされ、「違い」は様々な問題解決の糸口になることも学んでいきます。多文化共生社会の実現を目指す人権啓発ドラマです。	36分	ドラマ 活用ガイド付き
3-065	いじめ 心の声に気づく力	小学6年生のクラスメイト達。一見ふざけ合いや遊びに見える行為が一人の子に向けエスカレートしていく。いじめの被害者・加害者・傍観者の立場に自分を置き換えて視聴することで、いじめ行為を受けたクラスメイトの本当の気持ちに気づく力を養います。いじめの傍観者にならず、解決のために何か行動しようとする意識を持つことをねらいとしています。	19分	ドラマ
5-058	風の匂い	スーパーマーケットで働く歩と正人が主人公。歩には知的障害がありますが、子どものころは共に遊び、学ぶ「大切な友だち」でした。しかし、大人になった二人を隔てる健常者と障害者という壁。その壁を作っているのは誰なのか。社会的な課題でもある「合理的配慮」についても触れ、見る人が自分自身の問題として考えるきっかけとなるドラマです。	34分	ドラマ 解説付き
5-062	ぼくはうみがみたくなりました	自閉症の青年と、人生行き詰まり気味の看護学生が海へ向かう旅に出てしまい、そこで様々な人々とめぐり合うハートウォーミングな人間ドラマです。「自閉症」の青年をとりまく、実際の症状や接し方等に焦点を当て、1人の自閉症の青年を取り巻く人々の人生や心の成長を、時にユーモラスに時に厳しくそして温かく描き出した作品です。	103分	ドラマ
5-064	聲の形	原作の「聲の形」(講談社)は、「いじめ」や「障害のある人との共生」などの難しいテーマを読者が自然に考える事の出来る優れた物語で、人権意識を常に高く持っていないと、周囲の人権を傷つける可能性がある事を教えてくれます。この作品は原作を基本に、中学校を舞台に教材としてのテーマを付加したドラマ形式の学習教材です。	30分	ドラマ
5-074	奇跡の子どもたち	日本でたった3人の希少難病「AADC欠損症」の患者とその家族を10年追ったドキュメンタリーです。難病の子ども達の一所懸命に生きる姿と、その子ども達を深い愛情で育む両親。当たり前家族として接する妹。家族の愛の深さと生きるということの大切さを感じていただける作品です。	80分	ドキュメンタリー 映画
5-075	きこえなかったあの日 【団体研修には利用できません】	東日本大震災直後に宮城を訪れた今村彩子監督が抱いたのは、「耳のきこえない人たちが置かれている状況を知ってほしい」という痛切な思いだった。みんなが安心して暮らせるその日まで。今村監督がみつめた、耳のきこえない人たちと災害、10年の記録。	116分	ドキュメンタリー 映画
6-017	ここから歩き始める	認知症の親を持つ主人公とその家族の中で繰り広げられる介護を巡る葛藤と、絆の紡ぎなおしを描いています。高齢者が人間として誇りを持って生きていくうえで大切なことについて、家族や地域の視点を通して考えるきっかけになるドラマ教材です。	34分	ドラマ 解説付き
6-019	「やさしく」の意味 ～おばあちゃんは認知症だった～	敦賀市で開催された「小中学生の認知症サポーター作文コンテスト」で、最優秀作品に選ばれた小学4年生の作文「『やさしく』すること」ということを脚色したドラマ形式の教育映画です。全国の認知症患者、その家族、そして彼らを取り巻く地域社会から、一人ひとりが安心して暮らしていくためにできる工夫とは何かを示唆しています。	33分	ドラマ

番号	タイトル	内容	時間	形式
7-230	親愛なる、あなたへ	定年退職前に妻と死別し、一人暮らしで籠りがちな毎日を過ごす男性が、地域の人たちとかわり繋がり姿を通して、一人ひとりの「気づき」こそが、互いに支え合う力が低下した地域の「再生」につながることを、無関心・無理解という冷たい壁を破って、温かい見守りと相互支援を進めることが、周りの人だけでなく自分にも大切だということを語りかけます。	37分	ドラマ
7-240	桃香の自由帳	核家族化や都市化が進む中、互いにふれあい、支え合うことが少なくなっています。そのため、同じ地域に暮らしていても、名前さえ知らなかったり相手のことを誤解して排除したりするなど、私たちは気づかないうちに「人とのつながり」を自ら断ってしまうことがあります。現代を生きる私たちが見失いつつある、人と人が寄り添い、共に生きる温かな世界とは何かについて語ります。	36分	ドラマ
7-252	ほんとの空	自分の住むマンションは、面倒な人が多く住むと感じている主人公の弓枝は、息子の友だちを思う純粋な気持ちや、他国から引っ越してきた隣人と接して、自身の誤解や偏見に気付いていきます。人と深く向き合い、すべての人権課題を自分に関わるものとして捉え、日常の行動につなげていくことを目的としています。	36分	ドラマ 活用ガイド付き
7-253	家庭の中の人権 生まれ来る子へ	「家庭の中の人権」に目を向け、祖父母と孫夫婦の会話を通して、私達の身の回りにある人権問題をクローズアップしました。家庭の中で、人権の尊さについて語り合い、伝えていくことは、すべての「いのち」を大切にすることでもあります。気づくこと、そして行動することの大切さを描きます。	25分	ドラマ 解説付き
7-255	ヒーロー	働き盛りのサラリーマン男性が、町内会副会長を受けたために秋祭りヒーロー役をし、転倒して骨折。せつかくのリフレッシュ休暇を家で一人で過ごすこととなります。これをきっかけに地域と関わりはじめ、様々な人と出会い、自分の家族との絆も深めていきます。新たな地域のつながりを結んでいくことの大切さを実感してもらえる作品です。	34分	ドラマ
7-256	秋桜の咲く日	「目に見えにくい違い」の一つとして発達障害を取り上げています。発達障害のある人の生きづらさや痛みを真摯に伝えるとともに、「違い」が生み出すプラスのエネルギーを美しく群生するコスモスの花々と重ね、「共に生きることの喜び」を伝えています。	34分	ドラマ 字幕 副音声 有
7-260	家庭の中の人権 カラフル	両親と人生の巣立ちの時を迎えた子どもたちの会話を通して、家庭の中にある人権問題を取り上げます。子どもの就職、結婚、他人の噂、そしてLGBT・・・誰もが多様性を認めるカラフルな人生を送るために「人権」に対する意識と知識を高め、話し合うきっかけとなる良質なドラマです。	31分	ドラマ 解説・ ワーク シート 付き
7-272	マザーズ ハンド ～お母さんの仕事～	宿題は、「お母さんの仕事」という作文。清掃作業員として働くお母さんの仕事を恥ずかしく思ってしまう少女の葛藤と気づきの物語。親子愛・姉妹愛・友人の思いやり、そして母の後ろ姿が少女の心を変えていきます。人権への理解を深めるとともに、誰もが幸せに生きていく権利を持っていることを知ってもらうことを目的に制作されました。	19分	ドラマ
7-276	あした咲く	独身会社員の妹・茜と専業主婦の姉・翠。それぞれの立場ゆえの悩みや葛藤。姉妹での対立や父との会話、そして地域の人々とのふれあいを通して、別の視点や価値観に気づきます。女性はもちろんすべての人が「自分の花」をイキイキと咲かせることのできる、多様性尊重社会。その実現を目指すきっかけとなる人権啓発ドラマです。	36分	ドラマ
7-277	君が、いるから	母親からの心理的虐待に悩む若者・奏。生き方を制限され、自分が愛されていると感ずることが出来ず、自己肯定感の低い彼女が、コンビニエンスストアを舞台とした「ほんの小さな冒険」をきっかけに少しずつ変わっていきます。友とこころを通わせ、信頼することの先に「希望」と「幸せ」がある事を奏の成長を通して描きます。	33分	ドラマ